

尚
子

Shouji

発行者: 寶積英彦 埼玉県狭山市水野 594 番地 編集長: 関口 歩 企画編集: 広報紙編集室
ホームページ: www.syojukai.or.jp メール: syojukai@mirror.ocn.ne.jp



ホームページ ブログ

診療報酬改定で見えてくるもの…～地域包括ケアシステムの推進～

前号でもご案内しました「診療報酬改定」が、4月1日から運用になりました。この改定、馴染みのない言葉に、自身の事として捉えてない方も多いかと思いますが、実は、誰にでも関係する社会保障制度に大きく影響します。

診療報酬改定は、政府で決めた「改定率」と、社会保障審議会で策定された「基本方針」に基づき、診療の対価を支払う側と診療を提供する側と公益代表の3つの立場の委員20名で構成される中央社会保険医療協議会で、個々の診療行為に割り当てられている点数の増減や算定条件等を長い期間で審議を行い実施されます。日本の社会保障制度の方向性を強く反映しており、超高齢社会を迎える2025年に向けて改定の都度修正を加えながら、医療改革が進められています。

高齢者が安心して生活できる社会には『医療と介護が切れ目なく提供できる体制作り』は欠かせません。2年に一度の医療保険改定に対して、介護保険は3年に一度改定が行われます。つまり6年に一度は、同時に改定が行われることになり、それは医療・介護の連携と融合に向けた絶好の機会と言えます。今回は2018年です。2025年を一応の区切りと考えると、改革が正しい方向を指しているのか、検証できる最後の年となります。

2013年からの医療計画では、医療介護総合確保促進法により、地域医療構想の策定がなされました。これに関連して病床機能報告制度が始まりました。病床機能とは、高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4種類の医療機能を指します。報告制度では一般病院や有床診療所の病床数を都道府県が先ず把握し、地域

の人口推移や人口構成に照らし、それぞれの機能の将来的な必要量を推計しながら、医療機能分化の促進と地域ニーズに応える構想を練る狙いがあります。

1か所の医療機関が幅広い疾患に対しての役割を担うのではなく、様々な医療機能を持つ各医療機関がしっかりと連携しながら、地域医療を支えていく『地域完結型医療』を進めていこうというわけです。この病床機能分化により、患者様の状態にあった病床で、適時適切な医療を受けられるように、人的・物的資源を集中投入し、早期の在宅復帰・社会復帰の実現に向けて、地域で受け入れる各医療機能の病床や、在宅での医療と介護の充実が必要となるのです。

このように急性期での入院から退院後の在宅介護までの一連の流れの中で、川上である医療と川下の介護の連携の構築が、最近よく耳にする『地域包括ケアシステム』として示されています。『高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制』を構築するための布石が、今回の診療報酬改定にも色濃く反映されました。

2018年からは、新しい医療計画と介護保険事業計画がスタートします。現行の計画で開始した地域包括ケアシステムの構築の方向性を継承しつつ、在宅医療・介護連携の取組がますます本格化していくと予想されます。

尚寿会は、地域の医療ニーズと政策の両面に目を配りながら『信頼と愛とで築く地域医療』に邁進して参ります。
(なる)

平成28年度 狭山市特定健診が始まりました ～大生病院 検診窓口からのお知らせ～

狭山市在住の方には市役所より特定健診、各がん検診のご案内が届き始める頃だと思います。昨年、当院では約1,700件の特定健診のご利用がありました。がん検診と組み合わせた「充実コース」(9,257円)も用意しています。その他、人間ドックなどについてもお気軽にお問い合わせください。 電話2957-1141(検診窓口)

Dual Source CT 始動！ ～大生病院CT室～



平成28年4月18日に、いよいよ新CT装置が始動式を迎えました。シーメンス社製「SOMATOM Definition Flash」は、2つのX線管球と2つの検出器を有し、世界トップクラスの性能を誇るCT装置です。1秒以下での撮影スピードも可能にした新CT装置は、被爆の大幅な低減も可能にしました。

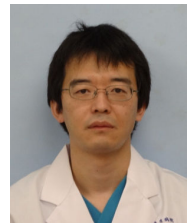
大生病院では、地域医療施設様との連携をさらに強化し、高度利用機器の共同利用を推進しています。本装置も地域医療への更なる貢献ができますよう、CT室スタッフ一同研鑽を重ねて頑張っております。

大生病院 放射線診断科 山本 拓

新たに2名の先生が入職されました！よろしくお願い致します。 ～大生病院 医局～

4月1日より大生病院で、主に人間ドック・健診担当として働かせていただくことになりました、藤田映輝（ふじたえいき）です。もともと消化器内科を専門としておりましたが、2013年から3年間、検診センターで人間ドック・健診に従事しておりました。「いつまでも健康でありたい」ということは誰しもの願いですが、病気はいつ誰に生じるかわかりません。特に生活習慣病の多くは初期には自覚症状に乏しく、気づいた時にはかなり進行していることも少なくありません。健診を通して病気の早期発見を行い、健康で安心した豊かな生活を送るためのお手伝いができたらと思います。

人間ドック・健診・木曜日午後内科外来担当 藤田映輝（ふじたえいき）



2016年4月から、大生病院にて内科医として勤務を開始しました、山川彰夫（やまかわあきお）と申します。1階東病棟での回復期リハビリテーション入院管理をメインにし、内科外来と一部施設での産業医業務もやっていく予定ですので、色々な職種や病棟の方々にお世話をお掛けすることになると思います。

3月まではJCHO湯河原病院の外来・病棟・検診室で内科医として地域医療に従事する傍ら病院産業医も兼任していました。3年前までは東大医科学研究所で禁煙外来・産業医・特任教授（研究支援・経営戦略担当）。それ以前はJST研究開発戦略センターで、臨床研究グループのシニアフェロー、またBostonのダナ・ファーマーがん研究所・東大分院・本院等で臨床と基礎研究をやってきましたが、「深く」というより「幅広く」経験を積んできたと言えるかもしれません。個人的には4人家族のただ一人の男性。娘は外国留学中。趣味としては、軟式テニスと読書、音楽鑑賞などです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

大生病院 1階東病棟担当 山川彰夫（やまかわあきお）

いよいよ『尚寿の舞』始まります！ ～尚寿会いきいき連始動！～

平成28年度の尚寿会いきいき連が始動致します。多くの方に元気を届ける為5月から練習を開始、皆様への披露まで一生懸命練習を行います。地域の皆様、ご入院・ご入所中の皆様、ご期待ください。



いきいき連では、新入職員の方から、まだ踊りを体験していない職員まで、いつでもWelcomeです。楽しく踊りましょう。他職種で輪になり一緒に感動しましょう！

いきいき連広報 吉川貴矩



通常練習日：毎週月・木 17時30分～18時30分
練習場所については当日放送でお伝えします。

介護職選択の理由 ～お年寄りが好きですか～

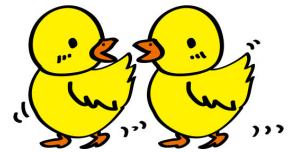
介護の仕事は、とても大変だという声を耳にします。確かに精神的にも身体的にも重労働であることは、介護に従事する者であれば実感として受け止めていると思います。私もこの業界に入って30年になりますが、幾度となく体を壊し、それをかばいながら、今も現役で務めさせて頂いています。

これまで、体を壊すたびに、本当にこの仕事でいいのかと自問自答を繰り返してきました。そして、悩んだ先にはいつも、患者様の笑顔と「ありがとう」の声を思い起こしていました。どんなに勤務が忙しくても、患者様の笑顔があれば心が和み、どんなに疲れていても「ありがとう」の感謝の言葉が、元気にさせてくれました。まるで、魔法にかかったような気分になり、充実感で満たされている自分がいました。私が介護を生業とする本当の理由、自分の職に誇りを感じている理由がここにあると思っています。そして、これらの根底にあり支えているのは、“お年寄りが好き”だということです。

大変な介護の仕事、その先にあなたを繋ぎ止めている魅力は何ですか。身近な人と、介護の仕事の魅力について話をしてみても如何ですか。今よりもっと前向きな自分に出会えるとおもいます。

平成27年度の介護福祉士国家試験で、尚寿会では18名の介護福祉士が誕生しました。おめでとうございます。これからいくつもの試験が待っています。その時は自分と向き合い、何故この仕事を選んだのかと問いかけてみてください。今後の活躍を祈っています。

(茶木)



子育てしやすい職場環境づくり！ ～ひよこ園リニューアル～

尚寿会では年間を通して常に10名以上の産休・育休中の職員がいます。その職員が安心して仕事復帰できるように託児所（ひよこ園）を併設しています。ひよこ園は、0～2歳児のお子様を中心に、夏休み期間などの臨時利用では、小学校3年生までをお預かりしています。今回、新たに就職を希望する子育て世代の職員を見越して、今以上に良い環境でお預かりできるよう、保育スペースを拡張、定員を30名から50名に増枠し、0歳児専用室を設けました。園長先生も4月から新任されたとのことで、園の様子などを伺ってきました。

(なみ)



私共の園では、ただ安全にお預かりするのではなく、様々な体験を通じてお子様の成長を援助するという保育を行っております。例えば、商店での自分のおやつ選びやお金を払う体験、商店や消防署など地域の方々との触れ合い、目を見て挨拶をし、会話することを大切にしています。また、施設ご利用者様との触れ合いも、子ども達がとても楽しみにしている体験のひとつです。握手をしたり、お話をしたりするときの表情は本当に素敵だと感じます。

そして、ひよこ園といえば、毎日の散歩ではないでしょうか。朝9時からの戸外活動では、長い距離を歩くことで体力をつけ、林道や茶畑などで季節の花や木の実、小さな虫などを見つけ、自然と触れ合う機会をたくさん設けています。散歩から帰る頃には、子ども達の小さなてのひらやポケットの中はお土産でいっぱいです。「これ、ママにおみやげ！」という嬉しそうな顔を見ると、ご家庭で愛情をいっぱい注がれて育っていることを実感致します。保護者様の子育てをサポートさせて頂けることに感謝し、これからも職員一同より一層努力して参ります。

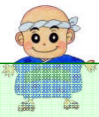


ひよこ園園長 中村優子

連載⑦ 尚寿ブランドのご紹介

⑭尚寿のターミネーター…アーノルド・シュワルツネッガー主演の映画「ターミネーター」に登場するロボットが、老健愛のカフェテリア太陽に展示してあります！身長2m45cm、総重量はなんと200kg！目を赤く光らせ大迫力です。

⑮尚寿のこいのぼり…約50匹の大きなこいのぼりが青空を泳ぐ姿は、目も心も奪われます！近隣の方にも数多くのこいのぼりを譲っていただき、ありがとうございます。老健愛と大生病院、あさひ病院の間をぬうように、3施設を繋いでくれているかのようです。（ちか）



蜃気楼 ～人馬二体～

前回、「Balance in Movement」と題して、この欄を担当してから、早4年が過ぎました。とある乗馬クラブのテキストの一節、「生きることは動くことである。乗馬することも動くことである。(Life is Movement, Riding is Movement) すなわち乗馬を学ぶということは動きを学ぶ、そして生き方を学ぶことでもある。」をご紹介しますが、今回は、日本競馬界のレジェンド、武豊騎手が、先日NHKのテレビ番組で語っていた「人馬二体」をご紹介します。



これは、「人と馬は別々の生き物であるが故に、お互いに相手を思いやる、いかに馬に負担をかけない乗り方をするか、が乗馬（もしくは競馬）の極意である。」でした。デモンストレーションでも、騎手の馬上での激しい動きの中で、足底にかかる重さが全く変わらず（重心の位置がずれず）、頭の位置も一定という、凄いものでした。下手の横好きの乗り手にとっては、いかに馬を酷い目にあわせているかと、ひたすら馬に「ごめんなさい」ですが…。

固まってしがみつかず、適度の緊張を保ちつつ、体幹の筋肉で上体を支え、全身の筋肉や関節を常にしなやかに動かし続けて、馬の動きについて行き、坐骨を始め全身の動きで馬と会話すること、「愛馬精神」を実践するのはとても難しい！でも、「終わった一歩ではなく、次の一歩を完璧に乗れ」と言われるのは希望かも…あらゆる失敗や挫折を越えて、「次の一歩に向かってGO！」

大生病院 4西病棟・火曜日午前内科外来担当 清岡道子

“看護体験”してみませんか？ ～毎年5月12日は看護の日～

大生病院では、今年も『ふれあい看護体験』を行います。2025年問題待ったなし、高齢者を支えるフレッシュな力が必要です。多くの方に看護の現場を見て頂き、実際に職員や患者様とふれあい、イメージを形にしてほしいのです。忙しいけれどやりがいのあふれる高齢者看護の現場を、あなたも体験してみませんか？(熊★)

日時：平成28年7月25日(月)～8月5日(金)の希望日(土日除く)

内容：看護介護体験、進路相談など

対象：高校生以上

問合せ：04-2957-1141 大生病院看護部 細田

よろしくお願い致します！ ～平成28年度 地域交流推進委員会・親睦会役員紹介～

◎地域交流推進委員会

委員長：北田裕幸(あさひ病院・庶務課)

副委員長：津郷広之(大生病院・庶務課)

会計：橋本和枝(あさひ病院・医事課)

書記：根本康平(あさひ病院・栄養科)

広報：飯村順一(大生病院・介護科)

広報：高橋和洋(老健愛・通所リハ)

◎第38期親睦会

会長：小林興太(大生病院・リハ科)

副会長：水戸部雄紀(大生病院・1階東病棟)

会計：因昭江(あさひ病院・医事課)

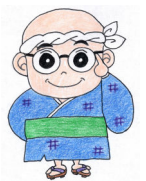
会計：井木枝里子(大生病院・医事科)

広報：内野幸志(あさひ病院・4階東病棟)

広報：若杉淳(老健愛・3階ユニット)

広報：米倉直樹(老健愛・3階ユニット)

お詫びと訂正…前号におけるオレンジカフェの運営時間に間違いがありました。ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。誤記載…午前11時から ⇒ 訂正 午前9時から11時まで
 ここにお詫びして訂正させていただきます。老健愛のオレンジカフェは毎月第3火曜日に開催しております。今後認知症専門職の関わる企画も検討中です。お気軽にお立ち寄りください。(なみ)



☆地鎮号☆じちん号 4月14日に発生した熊本地方の大地震。連日心の痛む報道が続いています。尚寿会でも支援物資1便を発送し、募金の呼びかけも開始、すでに8万円を超えました。今号は“季語”ではないのですが、“地”を鎮めて少しでも早く終息するよう祈りを込めて号の名を決めました。(歩)

